

第8次大阪府医師確保計画「2024～2029年度(うち2024～2026年度(前期))」の策定について

医師確保計画策定に向けた考え方

- 国のガイドラインを踏まえ、府独自の必要医師数の算出を行うとともに、医師確保及び医師の働き方改革の推進に向けた取組み等についてとりまとめる。
- 第7次医師確保計画(2020～2023年度)にかかる評価を実施し、評価結果を記載する。
- 第8次大阪府医療計画(2024～2029年度)本体との整合を図り、一体的な計画とする。

第8次大阪府医師確保計画(案)の構成について

第7次医師確保計画	第8次医師確保計画(案)
第1章 大阪府医師確保計画について 第1節 医師確保計画策定の背景 第2節 医師確保計画の記載事項	第1章 大阪府医師確保計画について 第1節 医師確保計画策定の背景 第2節 医師確保計画の記載事項 第3節 医師確保計画の評価
第2章 医師確保の現状と課題 第1節 医師確保の現状 第2節 医師確保の課題	第2章 医師確保の現状と課題 第1節 医師確保の現状 第2節 医師確保の課題
第3章 医師偏在指標 第1節 医師偏在指標 第2節 産科・小児科医師偏在指標	
第4章 必要となる医師数(2023年・2036年) 第1節 国の考え方 第2節 大阪府の考え方 第3節 医師確保の方針	第3章 必要となる医師数(2026年・2036年) 第1節 国の考え方 第2節 大阪府の考え方
第5章 医師の確保と資質向上に関する施策の方向 第1節 医師確保の取組み 第2節 医師の勤務環境改善に向けた取組み 第3節 産婦人科(産科)・小児科の医療提供体制の検討	第4章 医師の確保と資質向上に関する施策の方向 第1節 医師確保の方針 第2節 医師確保の取組み 第3節 医師の勤務環境改善に向けた取組み
第6章 医師確保計画にかかる評価 第1節 医師確保計画にかかる評価	

大阪府医師確保計画「2024～2029年度(うち2024～2026年度(前期))」骨子案

第1章 大阪府医師確保計画について

第1節 医師確保計画策定の背景

- ・H30 医療法改正

第2節 医師確保計画の記載事項

- ・確保すべき医師数の目標、医師確保の方針、目標達成に向けた施策内容

第3節 医師確保計画の評価

- 第7次医師確保計画(2020～2023年度)の評価
 - ・施策・指標マップにより設定した目標値の達成状況等(例:キャリア形成プログラム作成率、医療勤務環境改善支援センターによる地域枠医師派遣先病院の支援率)
- 第8次(前期)医師確保計画(2024～2026年度)の評価
 - ・PDCAサイクルに基づく計画推進

第2章 医師確保の現状と課題

第1節 医師確保の現状

- 府内の医師数の推移
- 将来の人口推計と医療需要の状況
- 医師偏在指標、医師多数区域・医師少数区域 等
- 分娩取扱医師偏在指標、小児科医師偏在指標
- 医師の勤務実態
 - ➡国提供データや府の実態調査結果(例:時間外労働時間月 **80** 時間以上の医師の割合)等

第2節 医師確保の課題

- 府全体の課題
 - ➡将来の医師確保の見通し、地域枠、初期臨床研修医、専攻医 等
- 地域偏在対策についての課題
 - ➡医師偏在指標の全国基準値を下回る二次医療圏
- 診療科偏在対策についての課題
 - ➡医師不足とされる産科、小児科、救急科に加え、政策的に医師確保が必要な領域(総合診療等)
- 医師の勤務環境についての課題
 - ➡医師の働き方改革への対応、女性医師支援 等

第3章 必要となる医師数(2026年・2036年)

第1節 国の考え方

- 目標医師数、偏在対策医師数、必要医師数、医師供給推計(国提供データ)

第2節 大阪府の考え方

- 必要医師数の算出
 - ➡二次医療圏別医師数、分娩取扱医師数、小児科医師数、救急科(三次救急)医師数

第4章 医師の確保と資質向上に関する施策の方向

第1節 医師確保の方針

- 大阪府全体
- 地域偏在
- 診療科偏在
 - ➡医師偏在指標や必要医師数等を踏まえて方針決定

第2節 医師確保の取組み

- 大阪府全体の取組み
 - ➡医師の派遣計画策定やキャリア相談等を行う「地域医療支援センター」の運営
初期臨床研修制度や専門医制度に関する関係機関(他都道府県、学会)との連携・国への要望 等
 - 二次医療圏別、診療科別の医師確保
 - ➡キャリア形成プログラム※を活用した派遣調整 等
- ※修学資金を貸与した地域枠医師や自治医科大学卒業医師等に対し、キャリア形成と偏在対策を両立させたプログラム

第3節 医師の勤務環境改善に向けた取組み

- 勤務環境改善の支援
 - ➡医療勤務環境改善支援センターによる医療機関の勤務環境改善支援 等

医師確保計画 取組状況

第5章 医師の確保と資質向上に関する施策の方向

第1節 医師確保の取組

○:概ね予定どおり
△:予定どおりでない
-:未実施

1. 大阪府全体の医師確保に向けた取組

計画の内容	評価	実績 (R4)	実績 (R3)	実績 (R2)
<p>(1) 地域枠医師の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域枠(大阪府修学資金貸与枠)を各大学に臨時定員により設置できるよう国に要望します。 地域枠の恒久定員内での設置についても議論し、大阪府に必要な地域枠医師の養成を継続して行います。 	○	<ul style="list-style-type: none"> 臨時定員による地域枠の設置について、以下のとおり要望を実施 <ul style="list-style-type: none"> 国家要望(R4.7) 厚労省訪問による要望(R4.9) 	<ul style="list-style-type: none"> 国家要望(R3.7) 大学間連絡会を設置し、地域枠設置大学から意見聴取(R3.4-5 大阪市大、大阪医大、関西医大、近大) 	<ul style="list-style-type: none"> 国家要望(R2.7)
<p>(2) 自治医科大学卒業医師の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治医科大学に府内の高等学校卒業生等の入学促進をするなど、地域医療に対する気概と高度な医療能力を持つ医師を養成します。 自治医科大学の大阪府の入学定員枠については、3名枠となるよう、引き続き要望します。 	○	<ul style="list-style-type: none"> 府内高校、予備校等に対して、自治医大に係る広報活動を実施 <p><府内高校訪問実績></p> <ul style="list-style-type: none"> 大手前高校(R4.9) <p><予備校主催の説明会等への参加実績></p> <ul style="list-style-type: none"> 河合塾(R4.10) メディアアップ(R4.11) <ul style="list-style-type: none"> 自治医科大学に対し、入学定員枠を3名とするよう要望(R4.9) 	<ul style="list-style-type: none"> 府内高校、予備校等に対して、自治医大に係る広報活動を実施 <p><府内高校訪問実績></p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪教育大学附属高校平野校舎(R3.7) <p><予備校主催の説明会等への参加実績></p> <ul style="list-style-type: none"> メディカルラボ(R3.8) メディアアップ(R3.9) 河合塾(R3.12) <p>※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一部実施を見送り</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治医科大学に対し、入学定員枠を3名とするよう要望(R3.9) 	<ul style="list-style-type: none"> 予備校に対して、自治医大に係る広報活動を実施 <p><予備校訪問実績></p> <ul style="list-style-type: none"> 河合塾(R2.11) <p>※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一部実施を見送り</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治医科大学に対し、入学定員枠を3名とするよう要望(R2.9)

計画の内容	評価	実績 (R4)	実績 (R3)	実績 (R2)
<p>(3) キャリア形成プログラムによる医師確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師確保、地域医療構想及び医師の働き方改革を三位一体で検討し、地域医療構想調整会議等での議論の結果も踏まえて、医療対策協議会や地域医療支援センターにおいて、キャリア形成プログラムを作成します。 ・地域枠医師等にキャリア形成プログラムを作成し、各医療圏における医師確保の方針等を踏まえた医師派遣計画により適切に派遣調整します。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・医療対策協議会、医師確保懇話会等において、府として育成していくべき医師の姿や、キャリア形成プログラムにおけるローテート等について議論し、地域医療支援センターにおいてキャリア形成プログラムを作成 ・地域枠医師等について、医師派遣計画に基づき、北河内、中河内、堺、泉州医療圏等の医師不足地域へ派遣 <p><医療対策協議会開催実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・R4.4(意見照会) ・R4.4(書面開催) ・R4.8(意見照会) ・R4.11(意見照会) ・R5.1(ハイブリッド開催) ・R5.3(ハイブリッド開催) <p><医師確保懇話会開催実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急 ・R4.8(WEB開催) ・周産期 ・R4.8(WEB開催) ・公衆衛生・感染症 ・R4.8、R5.2(WEB開催) ・総合診療 ・R5.2(WEB開催) 	<p><医療対策協議会開催実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・R3.6(意見照会) ・R3.8前半、後半(意見照会) ・R3.10(意見照会) ・R3.11(意見照会) ・R4.1(ハイブリッド開催) ・R4.3(ハイブリッド開催) <p><医師確保懇話会開催実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急 ・R3.6(WEB開催) ・周産期 ・R3.6(WEB開催) ・R3.12(WEB開催) ・公衆衛生・感染症 ・R3.5(WEB開催) ・R3.10(WEB開催) ・R4.3(WEB開催) ・総合診療 ・R3.9(WEB開催) ・R4.3(WEB開催) 	<p><医療対策協議会開催実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・R2.5(意見照会) ・R2.8前半、後半(意見照会) ・R2.10(意見照会) ・R2.11(意見照会) ・R3.1(ハイブリッド開催) ・R3.1(意見照会) ・R3.3(ハイブリッド開催) <p><医師確保懇話会開催実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急 ・R2.11(WEB開催) ・周産期 ・R2.11(WEB開催) ・公衆衛生・感染症 ・R3.2(WEB開催) ・R3.3(WEB開催) ・総合診療 ・R3.2(WEB開催) ・R3.3(WEB開催)
<p>(4) 医師の派遣計画の作成及び派遣調整 (地域医療支援センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度(2020年度)から大阪府の直営のもと、事業の強化を行います。 ・医療法第30条の25の規定により都道府県が実施するよう努めることとされている地域医療支援事務について、大阪府医療対策協議会の協議が整った事項に基づき取り組みます。 ・地域医療(特に周産期医療)の確保に関する調査分析等を行い、地域の周産期医療提供体制の構築に必要な医師の確保に努めます。 ・周産期や救急科の診療科偏在対策や大阪府内の地域医療へのかん養を図ることを目的に、医学生や若手医師を対象としたセミナー等を開催して、府内の地域偏在や診療科偏在対策に取り組みます。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・医師確保計画に基づく医師派遣を実施するため、府地域医療支援センターにおいて、地域枠学生及び地域枠医師に対し、個別面談を通じて本人の意向を確認し、各医局等と調整しながらキャリア形成プログラムを策定。 ・医学生や若手医師が、医師が不足する診療科への理解を深め、また、技能を向上させることを目的に各診療科セミナーを実施。 <p><セミナー等開催実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・とことん新生児セミナー2022(R4.9 医師・医学生26名参加) ・第34回ピーシーキューブ(PC3)(R4.11 医師・医学生・看護師12名参加) ・令和4年度医学生のための産婦人科セミナー(R5.2 医学生15名) ・令和4年度医学生のための救急セミナー(R5.3) ・日米救急WEBカンファ～大阪ERセミナー～(※オンライン、月1回開催) ・初期臨床研修医向け感染症研修プログラムCORE-ID2022(※オンライン、月1回開催) ・自治医科大学学生夏季研修(R3.8 自治医大1年生～6年生が参加) 	<ul style="list-style-type: none"> ・小児・周産期医療の医療提供体制に関する調査分析等を実施。 <p><セミナー等開催実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・とことん新生児セミナー2021オンライン(R3.9 医師・医学生110名参加) ・世界にはばたけ!大阪ERセミナー(R4.1、R4.2(2回)、R4.3の計4回 医師・医学生34名参加) ・自治医科大学学生夏季研修(R3.8 自治医大1年生～6年生が参加(オンライン)) ※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一部開催を見送り 	<p><セミナー等開催実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・とことん新生児セミナー2020オンライン(R2.9 医師・医学生61名参加) ・世界にはばたけ!大阪ERセミナー(R2.12 医師・医学生15名参加)

計画の内容	評価	実績 (R4)	実績 (R3)	実績 (R2)
<p>(5) 初期臨床研修</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪府独自の評価項目を活用して、研修体制が整っていると評価できる病院に募集定員を配分するなど、多くの研修医が大阪府内でよりよい研修を受けられるよう取り組みます。 大阪府の総募集定員に対する充足率を高められるよう、病院ごとの募集定員の適正配分に取り組みます。 	○	<ul style="list-style-type: none"> 臨床研修病院の定員配分に係る最終配分調整の評価項目については、医対協の意見等を踏まえ、研修医の技能向上等に繋がる内容を検討のうえ設定 (育児・介護休業法の改正に伴う項目追加(妊娠・出産・育児に関する施設及び取組み)を検討) 募集定員の充足率を高めるため、事前に病院から情報収集を行い調整を実施 実地調査結果を踏まえた今後の対応方針を決定 定員2名で最終配分調整に係る調査票が3点の医療機関に対し第三者(サーベイヤー)からの評価を実施し、「連続でB-又はC」となれば指定を取消す 	<ul style="list-style-type: none"> 最終配分調整評価項目の設定 <新規項目> <ul style="list-style-type: none"> 医師の働き方改革 病床の再編・統合・転換等 CPC研修内容・剖検症例件数 <拡充項目> <ul style="list-style-type: none"> 一般外来研修内容・日数 評価の方法 新型コロナウイルス感染症への対応 	<ul style="list-style-type: none"> 最終配分調整評価項目の設定 <新規項目> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症への対応
<p>(6) 専門研修</p> <ul style="list-style-type: none"> 学会や、大学病院をはじめとした基幹施設からの情報収集、情報共有を行いつつ、国のシーリングの考え方の問題点等を踏まえて、シーリングのあり方等について、専門医機構や国に対し要望します。 	○	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関から情報収集を行い、国や専門医機構に対して要望等を実施。 <書面による要望等実績> <ul style="list-style-type: none"> R4.4 (厚労省、日本専門医機構) R4.7 (厚労省(国家要望)) R4.9 (厚労省) <訪問による要望等実績> <ul style="list-style-type: none"> R4.5 (厚労省、日本専門医機構) R4.9 (厚労省、日本専門医機構) 	<ul style="list-style-type: none"> <書面による要望等実績> <ul style="list-style-type: none"> R3.5 (日本専門医機構) R3.7 (厚労省(国家要望)) R3.9 (厚労省) <訪問による要望等実績> <ul style="list-style-type: none"> R3.10 (厚労省、日本専門医機構) 	<ul style="list-style-type: none"> <書面による要望等実績> <ul style="list-style-type: none"> R2.4 (厚労省、日本専門医機構) R2.7 (厚労省(国家要望)) R3.9 (厚労省)
<p>(7) 大学の講義や実習等を通じた地域医療への意識の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学を含む関係者の協力の下、夏季休暇中の地域実習プログラムやセミナーを開催する等の方法により、大学の医学部の学生や医師が地域社会と接する機会を提供し、学生の地域医療や将来の進路選択に対する主体的意識の醸成を図ります。 	○	<ul style="list-style-type: none"> 医学生の地域医療マインドを醸成し、卒後も長期にわたって地域医療に貢献する人材を育成するため、大学等の関係者の協力を得て、地域医療の現場の理解を深めるためのセミナーや研修を実施 ※セミナー等開催実績については、5.1.1(4)参照 	※セミナー等開催実績については、5.1.1(4)参照	※セミナー等開催実績については、5.1.1(4)参照
<p>(8) 医学部を設置する府内の大学の志願者確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域医療支援センターのホームページ等の広報媒体を活用して、多くの病院が集積し、高度で魅力的な医療の提供、研修及び研究施設を有している大阪のフィールドを最大限活用し、大阪府内はもとより、将来の我が国の医療の中核を担う人材を輩出するための広報を行います。 	○	<ul style="list-style-type: none"> 大阪府地域医療支援センターのホームページにおいて、大阪で医師として働く魅力等について情報発信を行うとともに、府内の高校への訪問や、予備校で開催される医学部合同説明会への参加等を通じて、志願者確保に向けた広報を実施 <府内高校訪問実績> <ul style="list-style-type: none"> 大手前高校 (R4.9) <予備校主催の説明会等への参加実績> <ul style="list-style-type: none"> 河合塾 (R4.10) メディアアップ (R4.11) 	<ul style="list-style-type: none"> <府内高校訪問実績> <ul style="list-style-type: none"> 大阪教育大学附属高校平野校舎 (R3.7) <予備校主催の説明会等への参加実績> <ul style="list-style-type: none"> メディカルラボ (R3.8) メディアアップ (R3.9) 河合塾 (R3.12) ※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一部開催を見送り 	<ul style="list-style-type: none"> <予備校訪問実績> <ul style="list-style-type: none"> 河合塾 (R2.11) ※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一部実施を見送り

計画の内容	評価	実績 (R4)	実績 (R3)	実績 (R2)
<p>(9) 医師確保対策の実施に関する協議・調整 (大阪府医療対策協議会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の実情を踏まえて、医師確保対策の具体的な実施に必要な関係者間の協議・調整を行います。 ・医療機関ごとの機能分化・連携の方針や医師確保、医師の働き方改革を三位一体で検討し、地域医療構想調整会議等で議論の結果も踏まえて派遣調整します。 ・地域枠医師等にキャリア形成プログラムを策定し、各医療圏における医師確保の方針等を踏まえた医師派遣計画により適切に派遣調整します。 	○	※医療対策協議会等開催実績については、5.1.1(3)参照	※医療対策協議会等開催実績については、5.1.1(3)参照	※医療対策協議会等開催実績については、5.1.1(3)参照

2. 二次医療圏の医師確保に向けた取組

計画の内容	評価	実績 (R4)	実績 (R3)	実績 (R2)
<p>(1) 地域枠医師及び自治医科大学卒業医師の派遣調整 (2) キャリア形成プログラムによる医師確保 (3) 地域医療支援センターによる派遣調整等 ・医師確保、地域医療構想、医師の働き方改革を三位一体で検討し、医療機関ごとの担うべき機能を踏まえて派遣調整を行います。 ・地域枠医師等にキャリア形成プログラムを策定し、各医療圏における医師確保の方針等を踏まえた医師派遣計画により適切に派遣調整します。</p>	○	<p><派遣実績(地域枠)> ・初期1年目:13名 ・りんくう総合医療センター ・大阪公立大学医学部附属病院 ・JCHO大阪病院 ・耳原総合病院 ・岸和田徳洲会病院 ・大阪医科薬科大学病院 3名 ・関西医科大学附属病院 2名 ・北野病院 ・和泉市立総合医療センター ・近畿大学病院 ・卒後3年目:4名 ・大阪公立大学医学部附属病院 ・八尾市立病院 ・堺市立総合医療センター ・大阪市立総合医療センター <派遣実績(自治医大)> ・初期1年目:2名 ・大阪急性期・総合医療センター 2名 ・卒後3年目:2名 ・大阪急性期・総合医療センター 2名</p>	<p><派遣実績(地域枠)> ・初期1年目:13名 ・大阪急性期・総合医療センター 2名 ・岸和田徳洲会病院 ・市立東大阪医療センター ・関西電力病院 ・大阪市立大学医学部附属病院 ・大阪医科薬科大学病院 2名 ・大阪府済生会吹田病院 ・八尾市立病院 2名 ・千船病院 ・関西医科大学附属病院 ・卒後3年目:2名 ・泉大津市立病院 ・大阪市立総合医療センター <派遣実績(自治医大)> ・初期1年目:3名 ・大阪急性期・総合医療センター 3名 ・卒後3年目:3名 ・大阪急性期・総合医療センター ・中河内救命救急センター ・大阪精神医療センター</p>	<p><派遣実績(地域枠)> ・初期1年目:5名 ・JCHO大阪病院 ・大阪市立大学医学部附属病院 ・大阪警察病院 ・堺市立総合医療センター ・大阪市立総合医療センター ・卒後3年目:2名 ・ベルランド総合病院 ・市立池田病院 <派遣実績(自治医大)> ・初期1年目:3名 ・大阪急性期・総合医療センター 3名 ・卒後3年目:2名 ・大阪急性期・総合医療センター 2名</p>
	○	<p><派遣調整実績(地域枠)> ・27名(初期2年目:13名、6年生14名) <派遣調整実績(自治医大)> ・4名(初期2年目:3名、6年生1名) ※セミナー等開催実績については、5.1.1(4)参照</p>	<p><派遣調整実績(地域枠)> ・17名(初期2年目:4名、6年生:13名) <派遣調整実績(自治医大)> ・4名(初期2年目:2名、6年生2名) ※セミナー等開催実績については、5.1.1(4)参照</p>	<p><派遣調整実績(地域枠)> ・15名(初期2年目:2名、6年生:13名) <派遣調整実績(自治医大)> ・6名(初期2年目:3名、6年生3名) ※セミナー等開催実績については、5.1.1(4)参照</p>

3. 診療科別の医師確保に向けた取組

計画の内容	評価	実績 (R4)	実績 (R3)	実績 (R2)
<p>(1) 地域枠医師及び自治医科大学卒業医師の派遣調整 (2) 地域医療支援センターによる派遣調整等 (3) 医師が不足する診療科における勤務環境改善の取組等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域枠医師等にキャリア形成プログラムを策定し、各医療圏における医師確保の方針等を踏まえた医師派遣計画により適切に派遣調整します。 ・地域医療の確保に関する調査分析等を行い、地域の医療提供体制の構築に必要な医師の確保に努めます。 ・周産期や救急科の診療科偏在対策や大阪府内の地域医療へのかん養を図ることを目的に、医学生や若手医師を対象としたセミナー等を開催して、府内の地域偏在や診療科偏在対策に取り組みます。 	○	<p>※地域枠医師及び自治医科大学卒業医師の派遣調整実績等については、5.1.2(1)～(3)参照 ※セミナー等開催実績については、5.1.1(4)参照</p>	<p>※地域枠医師及び自治医科大学卒業医師の派遣調整実績等については、5.1.2(1)～(3)参照 ※セミナー等開催実績については、5.1.1(4)参照</p>	<p>※地域枠医師及び自治医科大学卒業医師の派遣調整実績等については、5.1.2(1)～(3)参照 ※セミナー等開催実績については、5.1.1(4)参照</p>

第2節 医師の勤務環境改善に向けた取組

1. 勤務環境改善の支援（医療勤務環境改善支援センター等）

計画の内容	評価	実績（R4）	実績（R3）	実績（R2）
<p>・大阪府医療勤務環境改善支援センターを運営し、病院又は診療所の管理者が、医師、看護師等の医療従事者その他の職員の協力のもと、自主的に勤務環境を改善するための過程を定め、継続して実施する活動に支援を行います。</p> <p>・平成30年7月公布の労働基準法等の一部改正により、令和6年度から医師の時間外労働時間に対する上限規制が適用されることから、各医療機関において医師の適正配置が求められるため、医療提供体制の確保の観点から、府内の医療機関が円滑に対応できるよう、医療勤務環境改善支援センターと連携して、医師労働時間短縮計画の策定の推進等、医療機関に対する支援を行います。</p>	○	<p><大阪府医療勤務環境改善支援センター業務実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談対応業務 614件 ・研修会開催 5回、672名 ・個別訪問・個別支援 8件 	<p><大阪府医療勤務環境改善支援センター業務実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談対応業務 147件 ・研修会開催 3回、394名 ・個別訪問・個別支援 18件 	<p><大阪府医療勤務環境改善支援センター業務実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談対応業務 112件 ・研修会開催 1回、424名 ・個別訪問・個別支援 26件
<p>・地域医療支援センターと医療勤務環境改善支援センターとが相互連携することにより、府内の医師不足の実態を把握するとともに、地域枠医師等の派遣先での勤務環境のフォローを行います。</p> <p>・女性医師等の離職防止と定着を図るため、勤務環境の改善や復職支援への取組を実施する二次救急告示医療機関、総合・地域周産期母子医療センター等に対する支援を行います。</p>	○	<p><大阪府医療勤務環境改善支援センター業務実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域枠医師の派遣先病院を含む府内全病院を対象に勤務環境改善の取組への支援を実施。加えて、令和5年度から初期臨床研修を開始する地域枠医師の派遣先病院の医師の働き方改革への取組状況をヒアリング実施。 	<p><大阪府医療勤務環境改善支援センター業務実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域枠医師の派遣先病院を含む府内全病院を対象に勤務環境改善の取組への支援を実施。加えて、令和4年度から初期臨床研修を開始する地域枠医師の派遣先病院の医師の働き方改革への取組状況をヒアリング実施。 	<p><大阪府医療勤務環境改善支援センター業務実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域枠医師の派遣先病院を含む府内全病院を対象に勤務環境改善の取組への支援を実施。
<p>・女性医師及び看護師等の医療従事者の定着対策並びに再就業を促進するため、一定の要件を備えた院内保育施設に対する支援を行います。</p>	○	<p>・病院が実施する「医師の勤務環境の改善への取組」や「出産・育児・介護等による、休職・離職した女性医師等の服飾支援への取組」を支援することで、府内の女性医師等の定着を図り、安定的な医師確保に資することを目的に、女性医師等就労環境改善事業（補助事業）を実施。</p> <p><補助実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・R4年度：35医療機関 121,646千円 <p>・看護職員をはじめとする、医療従事者の定着を図るため、医療従事者の乳幼児を預かる府内病院内保育所の設置者に対し、</p> <ul style="list-style-type: none"> ①保育士等の人件費（給料、諸手当等）の一部 ②病院内保育所の新築、増改築または改修に要する経費の一部 <p>を補助する事業を実施。</p> <p><補助実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・R4年度：①…65施設 162,577千円 ②…2施設 2,058千円 	<p><女性医師等就労環境改善事業補助実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・R3年度：44医療機関 127,313千円 <p><病院内保育所運営費補助事業補助実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・R3年度：91施設 222,465千円 <p><病院内保育所施設整備費補助事業補助実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・R3年度：2施設 22,245千円 	<p><女性医師等就労環境改善事業補助実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・R2年度：37医療機関 121,175千円 <p><病院内保育所運営費補助事業補助実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・R2年度：99施設 269,094千円 <p><病院内保育所施設整備費補助事業補助実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・R2年度：0施設 0千円

第3節 産婦人科(産科)・小児科の医療提供体制の検討

6. 医療提供体制の検討に向けた取組(周産期・小児医療)

計画の内容	評価	実績(R4)	実績(R3)	実績(R2)
<p>・小児科が相対的医師少数区域である中河内医療圏等の配慮が必要な医療圏において、周産期医療及び小児医療の提供体制の整備と医師確保に関する検討を行います。</p> <p>・国の方針も踏まえながら、府内の医療機関におけるNICUの設置や分娩の取扱い等について、医師確保、医師の働き方改革及び地域医療構想の観点から検討を行います。</p>	○	<p><小児医療の提供体制></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大阪府周産期医療及び小児医療協議会」において、府内28医療機関を小児中核病院及び小児地域医療センターに指定(R4.7) ・小児中核病院及び小児地域医療センターの役割等、小児医療提供体制については、引き続き、「大阪府周産期医療及び小児医療協議会」において検討 <ul style="list-style-type: none"> ➢小児中核病院 8医療機関 ➢小児地域医療センター 20医療機関 <p>小児中核病院及び小児地域医療センターを、地域枠医師の派遣先医療機関に追加。</p> <p><周産期医療の提供体制></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療構想等に係る病院説明会において、周産期医療を取り巻く現状とセミオープンシステムの活用などによる医療機関の役割分担について説明(R4.8) ・周産期医療提供体制については、引き続き、「大阪府周産期医療及び小児医療協議会」において検討 <ul style="list-style-type: none"> ➢総合周産期母子医療センター 6医療機関 ➢地域周産期母子医療センター 17医療機関 <p><協議会等開催実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・R4.7 第1回協議会開催 ・R4.9 小児部会開催 ・R5.2 周産期部会開催 ・R5.3 第2回協議会開催 	<p><小児医療の提供体制></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大阪府周産期医療及び小児医療協議会」及び同協議会の部会である「小児医療体制検討部会」において、小児中核病院及び小児地域医療センターの指定要件を検討(R3.9~R4.3) <p><周産期医療の提供体制></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大阪府周産期医療及び小児医療協議会」及び同協議会の部会である「周産期医療体制検討部会」において、周産期医療提供体制について検討(R4.3) <p><協議会等開催実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・R3.9 第1回協議会開催 ・R3.9 第1回小児部会開催 ・R4.1 第2回小児部会開催 ・R4.2 第3回小児部会開催 ・R4.3 第1回周産期部会開催 ・R4.3 第2回協議会開催 <p>※「大阪府周産期医療協議会」を「大阪府周産期医療及び小児医療協議会」に改組</p>	<p><小児医療の提供体制></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大阪府周産期医療協議会」において、国の「小児医療の体制構築に係る指針」を踏まえ、小児医療提供体制について検討(R2.6、R3.3) <p><周産期医療の提供体制></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大阪府周産期医療協議会」において、周産期医療提供体制について検討(R2.6、R3.3) <p><協議会開催実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・R2.6 第1回協議会開催 ・R3.3 第2回協議会開催